

	奈良女子大学 人文科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	文学部（第1年次：160名、第3年次：20名） 人間文化研究科（M：180名、D：50名）
沿 革	明治41（1908）年 奈良女子高等師範学校設置 昭和24（1949）年 奈良女子大学文学部設置 昭和43（1968）年 文学研究科（修士課程）設置 昭和55（1980）年 文学研究科（博士後期課程）設置 昭和56（1981）年 文学研究科（博士後期課程）を包括し、人間文化研究科を設置 平成10（1998）年 文学研究科を改組し、人間文化研究科（博士前期課程）を設置
設 置 目 的 等	昭和24（1949）年に、文学部が設置された。 昭和43（1968）年に、広い視野に立って精深な学識を授け専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的として、文学研究科修士課程が設置された。 昭和55（1980）年に、文化的諸課題に学際的・総合的に対応して広い展望を持ち、社会の諸分野で高次の指導的役割を果たす女性を育成することを目的として、文学研究科博士後期課程が設置された。 昭和56（1981）年に、文学研究科博士後期課程を包括し、後期3年の課程のみの独立研究科として人間文化研究科が設置された。 平成10（1998）年に、専門性に基づいた学問系統を維持しながら諸科学を再編・統合して相互の連携を充実強化することにより、専門性に加えて幅広い視野と豊かな人間性を持った優れた人材を養成することを目的として、文学研究科を改組し、人間文化研究科博士前期課程が設置された。
強みや特色、 社会的な役割	【総論】 奈良女子大学における人文科学分野においては、真理の探究を図るとともに、我が国の人文科学分野における女性リーダー養成の役割を果たすべく教育研究を実施してきた。 引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。

【教育】

(学部)

- 文学等の学問分野の教育研究を通じて、男女共同参画社会の女性リーダーとしての意識、社会における諸事象を批判的に眺め、的確に判断する力、歴史・文化・言語・地域について認識を深め、国際社会の中で活躍できる力、豊かな感受性と洞察力を持ち、人間とは何かについて深く考える力を有し、幅広い教養と深い専門性を身につけた創造的な女性を養成する。
- このため、1年次から少人数のゼミ方式により女性リーダーとしての意識を涵養し、能力を開発する授業を学部共通科目とする等の取組を実施している。
- これらの取組を通じて、新たなものの見方とともに、問題を発見し思考する力、資料解釈力が身についたと回答する学生が3年間で増えており、また、女性としての生き方や考え方について気づきや発見があったと回答する学生は3年間で30ポイント以上増えている。
- 今後、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、社会において主体的に行動できる女性を育成するためのキャリア教育の充実に取り組みなど学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等により、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 専門的な知識・能力だけでなく、高い倫理性と公正な視点に基づいて主体的・積極的に課題に取り組む力やコミュニケーション能力を有し、男女共同参画社会をリードする女性高度専門職業人・研究者を養成する。
- このため、女性のライフサイクルを視野に入れた長期履修制度や社会人等に対応した授業時間・研究指導の柔軟な対応等を行っている。
- これらの取組を通じて、30代～60代を含む幅広い世代の女性が、より高い専門的知識や能力を身につけ、キャリアアップしている。
- 今後、女性のライフサイクルを視野に入れた長期履修制度や社会人等に対応した授業時間・研究時間の整備・充実に取り組みなど社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

【研究】

- 奈良を中心に据えた古代学分野などにおける研究実績をいかし、奈良という地域を対象に、歴史学、地理学、社会学などさまざまな面から学際的にアプローチを行っている。

- これらの取組を通じて、奈良の寺社が所有する容易に閲覧することのできない貴重資料の全容を解説付で高精細データにより公開している「奈良地域関連資料画像データベース」を整備し、同分野の研究に貢献している。
- 今後、奈良にある研究機関との連携の拡充を図りつつ、奈良地域の貴重な文化財等をデジタル画像化し、インターネットを通じて広く一般に公開する等の研究を組織的に推進するとともに、地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。また、アジアにおけるジェンダーに関する学際的研究を推進し、我が国社会の課題解決・文化の発展に貢献することを目指す。

【その他】

- 文学等の学問分野の学士課程においては、学校など教育現場についての研究を志向する心理学に関するコースを設けるなど、社会の著しい変化への対応に様々な現場で豊かな教養と専門性をもって従事できる女性人材を養成することを目的として、平成 26 年度に文学等の学問分野を含む既存 3 学部の改組を行う。引き続き、18 歳人口の動態や社会と産業界のニーズに基づき学部・大学院の教育課程及び組織のあり方、規模等について不断の見直しに努める。